

# 総務建設経済常任委員会会議記録

1. 期 日 平成 30 年 8 月 6 日(月) 開会 9 時 30 分  
閉会 10 時 30 分
2. 場 所 第 1 委員会室
3. 付議事件 新役場庁舎整備について  
①開成町視察報告書について  
②閉会中の継続調査の報告について
4. 出席者 野地委員長 善波副委員長 桑原委員 二宮委員 杉崎委員 二見議長  
柳川委員 (遅れて出席)  
傍聴議員 1 名  
一般傍聴者 0 名  
議会事務局 1 名 (課長)
5. 経 過  
議長あいさつ

---

## 新役場庁舎整備について

### ①開成町視察報告書について

- 委員長 柳川委員は所用により遅れての出席となる。  
視察報告書の承認を皆さんにいただくということだが、お手元に配付の通りである。(資料「視察研修報告書」1~6 を朗読) 内容がよろしければ、議長宛てに提出する。
- 二宮 新庁舎について、初めて行動を起こした総務建設経済常任委員会としては、視察に行くまでのプロセス、なぜこの町を選んだかという目的の記載が無かったので、それを追加で入れた方が良いのではないかということ。
- 善波 二宮委員がおっしゃるように、そのへんが定かでないということで、5 のところで、「内容」を「目的」に変えて、目的はふたつあると思う。ひとつは、開成町がここで庁舎を建てるという段階に来たので、そこまでのプロセスを確認したかったということ、あとゼロエネルギーに関して、二宮町でその方向でやっていくのに応用できないかと、その 2 点かなと思う。
- 二見 二宮委員の話もそうだが、その前になぜ開成町に視察に行ったかの理由、それをまず最初に書いて、その後で善波委員が言ったようなことを入れてはどうか。
- 二宮 開成町を選定した目的ということで私が考えたのを読み上げる。「新庁舎建設にあたり、総務建設経済常任委員会では、①事業費、②庁舎の規模、③庁舎に求められる機能、④庁舎を賄うエネルギー、⑤補助金を受けられる取組み 以上 5 点を重要視するべきと考え、今回視察した開成町は計画段階ではあるが、庁舎を賄うエネルギーを最も地球環境に配慮した Z E B (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル) 庁舎

として認証を受けたことや、この取組みで補助金対象になったことなどもあり、情報収集の調査を行った。」という文章を作ってみたが、皆さんでもう一度考えて、委員会として重要視していることをきちんと羅列した方が、この委員会としてのあり方もきっちりと位置が定められるのではないかと思うがいかがか。

委員長 町民の意見や希望をどのように反映できるかというのが、大きな大前提。ZEBは国内初というところで、必要な項目であると思う。先ほど善波議員から提案があったように、「目的」のところに二宮委員の提案項目を追記していくというのはいかがか。

二宮 私の提案は、今日になってしまい申し訳なかったのだが、1から5までが、皆さまからの賛成を得られるものかどうかということは、どのようにしたら良いのかと思うが。

委員長 二宮委員の提案項目は、皆さんのお手元に配付されてはいない。二宮委員は5つの項目を挙げている。①事業費、②庁舎の規模、③庁舎に求められる機能、④庁舎を賄うエネルギー、⑤補助金を受けられる取組み、というところであるが、あと町民意見の集約というのがある。これを加えた6項目をひとつずつ羅列するのか、文章にしてまとめるのか、議長のおっしゃるプロセスをもう少し言葉として入れるか。

二見 目的を入れる前に、開成町になぜ視察に行ったかを書かないと。視察場所の決定理由。簡単でもいいので載せておいた方がいい。

杉崎 良い提案だが、聞いていないこともある。つまりこれに載っていない。できれば、これに沿った質問を追加した方が整合性はあるのかなど。例えば次ページの③議場の考え方というのは、二宮さんのこれには無い。少なくとも5項目は聞きましたよというのは作っておいた方が。

善波 項目別に、前段の目的で話をしてしまうと、ここに回答があるから、そのへんを少し集約して、議長がおっしゃったように、先進事例として、この点で進んでいる開成町を選んだということ。だから項目のあまり細かいのは謳わないでおくのが良いのではないか。開成町が直近で…要するにすぐ着工するというので、それまでのプロセスを、どういう形態でいったのかということ、細かいことに関しては、質問をしているということ。そのへんのプロセスが入れば、二宮委員の意向が反映されるのではないか。

二宮 委員長の分を含めて6項目となるが、なんせ視察に行ったのは1か所で、この6項目すべてに関して回答があるという意味ではなく、その中の何点かを見るべき場所として開成町を選んだという形の理解でいいのではないかと。一番心配するのは、これでいいのか悪いのかという議論がここから始まってしまうのかなどいうのがあって、この6項目すべてを開成町に当てはめるのは難しいが、何点かチョイスできる所として開成町を選んだという理解で良いのかなと思う。

委員長 なぜ決定したかという項目と、目的とを分けると考えたいと思うが、決定した理由としては、元々町民意見をどのように反映できるかという大前提があって、平成26年に委員会を立ち上げて、町民意見を汲み入れ、平成30年度の着工、規模も二

宮町とそれほど変わらないということで開成町に決定した。要するに 26 年から準備を進めて、30 年度の着工に至った、同規模の自治体ということで選んだということ。目的については、二宮委員がおっしゃる通りで、私たちは 6 つの質問を投げかけた。つまりこの 6 つ（を知るの）が目的である。質問に対する答え、これが研修結果でもある。目的は聴き取り調査という大きな項目ではあるが、6 項目についての聴き取り調査である。

善波 それは、5 番目の内容を目的に変えるということか。そこに羅列するということで。前段には、開成町を選んだ理由を入れるということ。

委員長 そのような形になろうかと思う。

二宮 皆さんが賛同して、追記して下さるということで、その方が視察について深い造形が出ると思う。

庶務課長 後からで申し訳ないが、教育福祉常任委員会の視察報告書についても同じ指摘をしているのだが、報告書の最後に、まとめとして、視察が町の今後、施策にどう活かせるかという項目を加えていただきたい。

委員長 目的については重複するので以下 6 項目について聴き取り調査を目的とし、という言葉で良いか。

二宮 私が思っているのは、庁舎の全体像として問題視されるのがこの項目で、開成町の視察で、完結するとは考えていない。重要視という言葉の方が良いのでは。質問が出てきていないところがあっても当然だと思う。まだ 1 か所しか行っていないわけで。こういうのを重点におきながら、一番近く、計画段階で、なおかつ Z E B 認証を受けたところを見に行っただという流れで良いのでは。

委員長 本来の目的ということで、その中の部分的な目的については開成町に質問したということ。当初の目的というのは全体像を重要視するというので良いのか。

二宮 そういう心がけで色々な所を探したけれど、やはり近場で、重複するが、開成町が良いということになったということ。6 項目すべてを開成町で完結するというのではなくて、時間があれば、他もたくさん見に行くわけであって、そういう意味も含めて、余韻があってもいいのではないか。

委員長 箇条書きで 6 あるが、これをつなげて文章にすることでよろしいか。重点項目として、その一番大きな Z E B を追記して、圧縮したい。

二見 私は、1 から 5、6 ではなくて、2 に「場所」と書いてあるが、場所の決定の理由はここに記載すれば良いと思う。

委員長 場所について、開成町に決定した理由は 2 に加える。

二宮 1 から 6 まだが、新庁舎建設計画の全体像として読み手が受けることができれば、私はそれでいいと思う。これが開成町にかかるのではないということがご理解いた

だければ。

委員長        それでは5の目的欄は、二宮委員からの5項目に、町民意見の集約の合わせて6点とZEBを入れたい。最後にまとめとして、本日の議題の2点目に出てくる継続調査報告にも出てくる内容を追記する。

---

## ②閉会中の継続調査の報告について

委員長        全体像としては、第2回定例会終了後に7月4日に開成町の視察を行い、本日8月6日の委員会を開催した。報告書とともに、今後どうするかという話になってくるが、私の案を先に出すが、「開成町視察研修報告書の確認とともに、今後の調査研究について意見交換を行った。当町では、10月に基本構想・基本設計を公表し、町民意見募集から策定まで、開成町が6年かけて膨大な作業を、わずか1年の予定で進めており、いささか拙速だと感じている。町民への説明が十分に行われなまま、強引に進められてしまうのではないかと危惧は払拭できず、引き続き調査研究を深めるべきであると考えている。しかし、次回の定例会は改選後となることから、本調査事件はこの報告をもっていったん終了し、次期議会における活発な議論を期待するものである。」というまとめでいかがか。閉会中の継続調査は本日をもって閉会として、第3回定例会以降は、継続調査を行わない。ただし、次期議会の方々においては、調査を引き続き深めていただきたい、という申し送りをする。それについて、ご意見を伺いたい。

二宮            今初めて聞いたが、「強引なる推進」という私情みたいな表現はどうか。

委員長        その文言についてはもう一度検討する。要するにここで調査はすると。次回は継続調査はしないが、次期議会については、この新庁舎については調査研究を深めてもらいたいという申し送りをして調査結果とするというふうにとどめておきたい。

桑原            深めてもらいたいというより期待したいという言葉の方が良い。

委員長        「次期議会における活発な議論を期待する」というのはどうか。申し送り事項として。

二見            これを出すと、今後継続調査はしないということになるのか。

庶務課長       9月議会で継続調査を設定しても、そのあと現体制では本会議で調査報告をすることはできない。報告を前提としての調査なので、(12月議会までの)継続は無い。表現は色々あると思うが、委員会としては終了すると言うしかない。

杉崎            継続調査としないのは良いが、勉強会はできるのではないか。その言葉を残しておいてはどうか。何もしないのかよお前たちは、と言われてもいいが、勉強会はできるはずではないか。改選があるから断腸の思いで終結したと、ただし、委員会として勉強会は開催すると。一番大事な時だし。

庶務課長       勉強会を議員間でやるのは結構だが、(執行者への)資料請求といった場合に、

継続調査とされていない以上、(資料を要求する) 根拠が無い。勉強会への出席を求めたり、資料請求ができない。勉強会をするのは自由でも、その成果を出す、示す場が(委員会としては)もう無い。

善波　　ここで勉強会というのも非常に難しいところがあって、行政の方でも基本構想がまとまるのが10月末だ。それが出たないと議論ができない。中断にせざるを得ないと思う。庁内の意見集約も8月末までで、9月にまとめ、業者がまとめるのが10月末で、ちょうど改選期に当たるということだ。

庶務課長　　10月下旬の議会全員協議会で、執行者側から庁内検討会の報告をする予定である。

委員長　　まとめれば、いったん終了して、次期議会における活発な議論を期待するということであると思う。つまりこれまでの調査を引き継いで、継続調査を終了するということだ。

桑原　　調査報告書に勉強会という文言を入れる必要は無いが、自主的に勉強会をやるのであれば載せなくても良いのではないか。

委員長　　現在、10時10分で、柳川委員が到着されたので、これより全員の体制で委員会を行う。

庶務課長　　委員会単位で勉強会をやったところで、それ(成果)を議員個々で持っていても意味の無いことである。委員会として行うならば、正式な形で、正式な場で報告する機会がなくては意味が無い。県議長会に問合せたところでも、そもそも常任委員会の継続調査は付託案件の継続審査とは異なり、任意の調査研究であり義務ではない。いずれにしても、任期をまたいで持ち越しということとはできない。

(「終結はいいがその代わりになる言葉は…」ほか声あり)

休憩 10時12分

再開 10時20分

委員長　　休憩中に確認したが、庁舎の基本構想・基本設計の素案は10月24日の議会全員協議会で報告される予定だということだ。それについて、議員は質問ができる。

閉会中の継続調査の取扱いについてどうするかということで、委員から意見を伺ったが、整理したものをこれから読むので、またご意見をいただきたい。

「10月には、基本構想・基本設計の素案が公表され、引き続き調査研究を深めるべき点では、全員の意見は一致した。しかし、次回の定例会は改選後となることから、本調査事件はこの報告をもって本体制においてはいったん終了し、次期議会における活発な議論を期待するものである。」という表現に改め、報告したい。視察のまとめとリンクするところもあるが、この案にご意見があれば伺う。

二見　　「本体制においては」という言葉が引っ掛かる。

庶務課長　　「現委員会においては」としてはどうか。

委員長 その案についてはいかがか。

(「異議なし」との声あり)

委員長 それではそのように修正し、また最初の議題の開成町の視察報告に戻る。報告書の最後にまとめを入れる。質疑により必要な項目について調査することができたということ、今後も議論を深めていきたいが、次期議会に期待するということろでいかがか。

二宮 6項目は、新庁舎にかかる6項目であり、開成町にかかるものではないということをつかるようにしてほしい。開成町に行った結果だけでは、習得できていない。

委員長 6項目を研究するのに、たまたま開成町にその一部があったということ。まず6項目の課題について、開成町という事例があつて、聴取したということで、まとめは、当初の目的に合ったものにしなければならないということで承知した。

二見 まとめというのは、9月議会の間に正副委員長でまとめるのか。

杉崎 ここで言っているまとめはあくまで視察報告書のまとめという理解で良いか。

委員長 そうである。今までの話合い内容を、正副委員長で言葉の精査を行い、皆さんに配信させていただく。あらためて定例会中に委員会を開催し、最終確認を行いたいと思うが。

庶務課長 文言の確認のみであれば会期中もやぶさかではないが、あくまでも閉会中の継続調査なので、閉会中に完結すべきである。

休憩 10時27分

再開 10時30分

委員長 次回の委員会を24日の全員協議会終了後(※注1)に開催し、各報告書の最終確認を行うこととする。

(※注1：委員会終了後、正副委員長と事務局の調整により24日議会全員協議会開催前に変更し、委員に周知した。)

閉会 10時30分